

安全で住みよい交通社会の実現をめざして

題号 交通いしかわ  
平成24年8月1日(隔月偶数月1日発行)第529号  
昭和49年9月18日第三種郵便物許可

# こうつう いしかわ

2012  
新秋号  
Vol.529



平成24年 秋の全国交通安全運動

期間 9月21日(金)~9月30日(日)

9月30日(日)は全国で『交通事故死ゼロを目指す日』



室堂センター

[www.i-ankyo.jp](http://www.i-ankyo.jp)



# 夜間、高齢者の交通事故防止

本年7月18日現在、県内の交通事故による死者は20人で、

うち夜間の発生 11人

うち高齢者の死者 13人

うち歩行中の死者 10人(そのうち道路横断中の死者が7人)

となっております。

また、過去10年間(平成14年～平成23年)の7～9月の交通死亡事故(死者192人)を分析したところ、

- 発生時間帯は16～20時(19.8%)、4時～8時(19.3%)が多い
- 幹線道路(国道・県道)での発生が多い(66.1%)
- 高齢者の割合が多い(45.8%)
- 四輪乗車中の割合が38.0%、歩行中が34.9%

という特徴があります。

夏休み、そして、秋口の行楽シーズンに向け、これらの特徴を踏まえ交通事故防止に十分に注意しましょう。

## ドライバーの方は

### 1 全ての座席のシートベルトを着用しましょう

ドライバーはもちろん、同乗者も含め全ての座席のシートベルトの着用を徹底しましょう。

### 2 スピードは控えめに

スピードの出し過ぎは重大事故につながりますので、制限速度を守りましょう。

### 3 ライトはこまめに切り替えましょう

夜間は、歩行者や自転車を早く発見するために、

- 通常はライトを上向きにして走行
- 対向車とすれ違う時に下向きにする

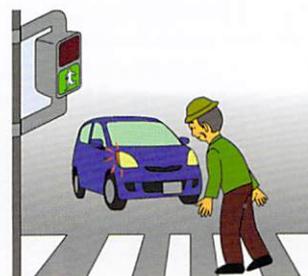
など、こまめに切り替えましょう。

### 4 道路横断中の歩行者に注意

横断歩道歩行中の歩行者が犠牲になる事故が増加しています(7月18日現在、横断歩道歩行中の死者6人《前年比+6人》)

交差点を右左折する際には、横断歩道上の歩行者に十分注意しましょう。

横断歩道以外でも横断者がいることから速度を落として運転しましょう。特に、右からの横断者に十分注意して、安全運転に努めましょう。



## 歩行者、自転車利用者の方は

### 1 反射タスキなど夜光反射材を身につけましょう

各家庭に反射タスキなどの手軽に使用できる反射材用品を備え付け、外出時には必ず身につけることを習慣にしましょう。

### 2 道路横断時の安全確認の励行

道路を渡るときは、横断歩道を渡る時でも

- 安全確認を確実に行う
- 特に、左から来る車に注意し、しっかり目で見、音をきく

事を励行しましょう。



街頭指導

委嘱状交付式



# 草の根安全活動

41

交通安全を願い、各地域で活動している方々を紹介します

## 街頭交通推進隊員として

金沢西街頭交通推進隊 隊長 忠村光宏



私は昭和54年（当時22歳）に金沢西街頭交通推進隊大野支隊に入隊しました。

当時は、通学路を歩いている児童のすぐ横を大型トラックやダンプが減速もしないで走り抜け、横断歩道を渡ろうとする子供がいても止まる車もなく、運転マナーという言葉もないような時代でした。

大野町でも交通事故が多発し、昭和51年2月29日には、道路横断中の歩行者が亡くなる死亡事故が発生しました。

この事故を契機に町会内で交通安全に対する意識が高まり、推進隊に若者を入れて活性化しようということで、私が22歳の若さで入隊することになりました。

その後、大野支隊長に就任し、平成11年からは金沢西街頭交通推進隊の隊長となり、現在、金沢西街頭交通推進隊長と大野支隊長を兼務しています。

推進隊の役割は、各隊員が「自分の町会・校下からは絶対に死亡事故を発生させない、交通事故を1件でも減らす」という信念を持って、街頭に立つことだと思っています。

街頭に立つ我々の姿を見せることで、ドライバーの交通安全意識を高め1件でも交通事故を防止できればと思っておりますが、最近、携帯電話を使用しながら運転するドライバーを目にすることが多く、交通事故が起きないことを願いながら、日夜、街頭に立っています。

地道な活動ですが、子供達の笑顔と挨拶から元気をもらって、金沢西警察署管内の死亡事故ゼロと大野町の死亡事故ゼロ記録（平成24年6月1日現在13,232日）継続を目指してガンバっています。

### TSマーク知ってる？



安全（点検・整備）・安心（付帯保険）な普通自転車のしるし  
**TSマーク**を貼ると、もしもの時に2000万円！

- TSマークは、「自転車安全整備店」で「自転車安全整備士」が点検・整備をした、道路交通法に基づく安全な普通自転車のあかしのマークです。
- 自転車は、自動車と同様に車両です。きちんと点検・整備をした安全な自転車で、ルールやマナーを守り、安全運転を心がけましょう。
- 万が一事故が起きた場合、TSマークが貼ってあれば、賠償責任保険・傷害保険が付いているので安心です。（点検・整備をしてから補償期間は1年間です。）

このマークのある自転車安全整備店で、点検・整備を受けて、TSマークを貼ってもらうと、保険が付帯されます。



#### 傷害保険

- 入院 15日以上（一律）10万円
- 死亡・重度後遺障害/1～4級（一律）100万円

#### 賠償責任保険

- 死亡・重度後遺障害/1～7級 限度額 2,000万円

### 自転車安全利用を推進しよう！

## 自転車安全利用五則

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
  - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
  - 夜間はライトを点灯
  - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

# 安協だより



県交通安全協会の活動状況です

## 第44回交通安全

# 子供自転車石川県大会

7月8日、石川県産業展示館「3号館」において開催しました。

参加選手は、県内の15小学校から21チーム・84人で、交通規則や道路標識など60問の「学科テスト」、交通法規に従い自転車の正しい乗り方と安全な走行を評価する「安全走行テスト」、S字やジグザグなどのコースで自転車の乗り方の習熟度を評価する「技能走行テスト」を競いました。団体は七尾市立高階小学校Aチーム、個人は松田菜々選手(同高階小学校Aチーム)が見事優勝しました。高階小学校チームは、8月1日、東京ビックサイトでの第47回交通安全子供自転車全国大会に県代表として出場します。

- ◆主催 (財)石川県交通安全協会・石川県警察本部
- ◆後援 石川県・石川県教育委員会



学科テスト中の選手たち



ルールを守る安全走行テスト



団体優勝の高階小学校Aチーム



「遅のり」技能走行テスト



ピンを倒さずに走行する技能走行テスト

## 高齢者交通安全教育指導事業開始式

県警と当協会は、6月22日、県安全運転研修所において開始式を行いました。

毛利交通部長の挨拶、南常務理事が身分証明書及び活動車両に取り付けるマグネット表示板を交付、指導員代表が開始申告を行い、各警察署に配置しました。事業は、40人の指導員が県内12警察署に配置され、2人1組で高齢者宅を訪れ交通安全一〇アード

バイスや反射材を交付することにも、街頭指導により交通安全を呼び掛ける半年間の事業です。



各警察署に向けて出発



指導員代表の宣言



県安全運転研修所・開始式

## 『高齢者講習』のご案内

高齢者講習は、運転免許証の更新期間が満了する日の年齢が70歳以上の方が、更新手続きをする前に受けていなければならない講習です。



石川県運転免許センターでも、  
高齢者講習を受けることができます。

『高齢者講習のお知らせ』が届いたら、  
講習会場を選んで、まず予約を!!



運転免許センター  
での予約先

電話：076-237-2735  
所在地：金沢市東蚊爪町2丁目1番地  
委託先：石川県交通安全協会

## その他の講習会場

加賀自動車学校 加南自動車学校 こまつ自動車学校  
北陸中部自動車学校 北鉄自動車学校 大徳自動車学校  
東部自動車学校 ドライビングスクールエクシール城東  
太陽自動車学校 羽咋自動車学校 七尾自動車学校  
能登中央自動車学校 輪島総合自動車学校 能登自動車学校

※上記の講習会場でも、高齢者講習を実施しています。  
ご希望の講習会場を選んで、電話等で予約してください。

**平成25年使用『交通安全年間スローガン(標語)』を募集しています**

(財)全日本交通安全協会と毎日新聞社は、平成25年使用するみだしのスローガンを全国から募集しています。関係省庁やNHKの後援を得て昭和40年から毎年募集しているもので、今年も多数の応募をお待ちしています。

**●応募期間**

平成24年7月初旬から「秋の全国交通安全運動」最終日の9月30日(必着)

**●応募部門**

【一般部門】応募資格は、一般および学生(小・中学生も可)

(A) 運転者(同乗者を含む)に対するもの

<重点テーマ>

◆運転マナーの向上(高齢者、子ども、障害者等への思いやり運転) ◆飲酒運転の根絶 ◆全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用 ◆夕暮れ時の早め点灯の促進

(B) 歩行者・自転車利用者に対するもの

<重点テーマ>

◆高齢者の交通安全(正しい横断など) ◆自転車の安全利用の推進(自転車安全利用五則の徹底など) ◆夕暮れ時・夜間の交通事故防止(反射材用品の活用など)

【こども部門】応募資格は、小・中学生に限ります

小・中学生自身に交通安全を呼び掛けるもの

**●お問い合わせ先**

毎日新聞社事業本部「交通安全年間スローガン」係  
(☎03-3212-0190)

**平成24年度『交通安全ファミリー作文』を募集しています**

家庭、学校、職場、地域において交通安全について考え話し合った内容、交通安全につながる日常の会話や独自の工夫などの実践例、身近な体験談などを作文にしてください。

題材は自由です。<テーマ例> ◆高齢者や子どもの事故防止 ◆シートベルトやチャイルドシートの着用 ◆自転車の安全利用 ◆飲酒運転の根絶 ◆反射材用品の着用など

**●応募期間**

平成24年7月1日(日)~9月10日(月) ※当日消印有効

**●応募区分**

(1)小学生の部 (2)中学生の部 (3)一般(高校生以上)の部

**●お問い合わせ先**

事務局 (株)海風社内「交通安全ファミリー作文係」  
(☎06-6586-6227)  
内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付交通安全啓発担当  
(☎03-3581-1182)

**団体入賞校**

順位	学校名	安協別
優勝	七尾市立高階小学校A	七尾鹿島
第2位	宝達志水町立宝達小学校	羽 昨
第3位	志賀町立高浜小学校	羽 昨

**個人入賞者**

順位	氏名	学校名	安協別
優勝	松田 菜々	七尾市立高階小学校A	七尾鹿島
第2位	木場 深智	宝達志水町立宝達小学校	羽 昨
第3位	荒川 星来	七尾市立高階小学校A	七尾鹿島
第4位	川端ひかり	宝達志水町立宝達小学校	羽 昨
第5位	中永 莉世	宝達志水町立宝達小学校	羽 昨
第6位	藤野 幸	七尾市立高階小学校A	七尾鹿島

**平成24年度  
定期総会**



5月28日、金沢ニューグランドホテルにおいて、23年度事業・決算報告など8議案が審議され、原案通り議決・承認されました。

**地域交通安全活動推進  
委員(100人)の講習会**



6月26~29日の4日間、県内4会場において、県警交通企画課遠藤補佐・日本自動車連盟(JAF)北本講師等で実施しました。

その他の交通安全活動

**平成24年度 自転車  
安全教育推進委員会**



7月12日、KKRホテル金沢において、自転車安全対策・自転車利用者の安全教育の推進について協議しました。

**自治体に対する交通  
死亡事故ゼロ継続表彰**



7月17日、交通死亡事故ゼロの継続800日を達成したかほく市に対して、県警本部長と県安協長連名の感謝状と記念品を贈呈しました。

**『石川県安全運転研修所』のご案内**

電話：076-237-2735 所在地：金沢市東蚊爪町2丁目1番地



研修所では3つの研修コースがあります。

**リフレッシュコース**

- ◆ 社員研修、安全運転技術のレベルアップ
- ◆ 身体的な衰えで反射神経や動体視力等に問題がでる高齢者の方
- ◆ 運転から遠ざかっていて自信のない方
- ◆ 雪道・凍結路などの体験(スキッドコース)
- ◆ エアバッグ・シートベルト体験

**チャレンジコース**

- ◆ 上位免許の取得を目指す方
- ◆ 外国免許切替・免許再取得を目指す方

**貸しコース**

- ◆ 免許を持っている方ご自分の車を持ち込んで練習をしたい方
- ◆ 家族・友人の助けでペーパードライバーから抜け出したい方
- ◆ 会社の研修で利用したい

# 支部 だより



交通安全協会15支部の  
活動状況です

## 金沢中支部 自転車乗車マナーの一斉指導

金沢泉丘高等学校、金沢中街頭交通推進隊（長坂台・富樫支隊）、金沢中警察署は、6月22日、高校及び周辺通学路において、合同で一斉指導を行いました。

指導には、校長以下教職員、PTA会長及び保護者、生徒会公安委員など約50人が参加し、傘差し運転・信号無視・二人乗り・ヘッドホンや携帯電話使用禁止などを指導し、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を呼び掛けました。



## 金沢東支部 交通安全子供供自転車石川県大会に向けて

浅野町小学校の出場選手が5月下旬から練習を開始しました。

昨年出場した選手や保護者から「貴重な経験ができ、本年も是非出場したい」と申し出が有り、経験者を中心に大会出場運びとなりました。本年は、精神的にも肉体的にも大きく成長した選手であり、昨年より上位を目指し、積極的に日々の練習に取り組みました。



## 金沢西支部 金沢西安協だよりと平成24年度優良運転者表彰募集チラシの作成

当支部は、夏場の交通事故防止対策の一環として、危険な交通場面でドライバー・自転車利用者・歩行者が具体的に何を注意すべきかをまとめた「金沢西安協だより」と平成24年度優良運転者表彰の募集チラシ（各3,700部）を作成し、各家庭に回覧・配布しました。



は、昨年度の収支決算書も掲出し、安協への理解と協力を求めました。

## 加賀支部 園児と交通安全七夕の集い

7月2日、大聖寺警察署において、かが幼稚園児40人と当支部役員・女性ドライバーの会員が参加し開催しました。

三谷会長、三田署長が園児に「家でも今日の集いの話しをして、交通事故にあわないようにして下さい」と交通安全を呼び掛けました。園児の「じこがへりますように」のお願いごとでいっぱいのお七夕飾りを、署ロビーに取り付け、来庁者も自由に願いがこが飾り付けられるようにしました。



## 小松支部 高校生に反射タスキを配付

当支部は、5月1日の県下一斉の自転車街頭指導日に、小松市立高等学校において、下校する生徒に反射タスキとチラシを配り自転車事故防止を呼び掛けました。

役員や推進隊員が、部活帰りの生徒に「反射タスキを着けるとドライバークラッシュから発見され易くなるので安全



だよ」「自転車の鍵かけも忘れずに！」と呼び掛けながら活動しました。

## 能美支部 交通安全七夕の集い

当支部は、7月4日、てらい中央児童館において、寺井保育園児と一緒に開催しました。

園児達は、「みんなが交通ルールをまもりますように」の願いや「道路に飛び出しません」の誓いはじめ、自分の将来の夢を書いた微笑ましい短冊を能美女性ドライバーの会員の手助けで飾り付けました。最後に全員で、七夕飾りを前に「交通安全3つのお約束」を誓い、願いが天まで届くように「七夕の歌」を元気に歌いました。



## 松任支部 幼児の交通安全教室

7月5日、野々市市のある保育園において、白山署交通巡回員と松任地区安協押野支部長などが参加し開催しました。

園児達は、巡回員から正しい道路の横断の指導を受け、可愛い手をあげ、大きな声で安



全確認して模擬横断歩道を渡るなど、ほのぼのとした教室となりました。

### 鶴来支部

## 平成24年度交通安全地区表彰式

5月30日、当支部定期総会の席上において行いました。管内10支部より推薦された26人が優良運転者表彰（10年以上無事故無違反）を受賞し、今後とも、地域や職場の交通安全リーダーとして、安全運転に努めて頂くことを期待しています。



### 河北支部

## 「後光作戦」で反射タスキ普及

6月8日、かほく市高松「発願寺」において、「後光作戦」と銘打ち、住職の架谷瞬華氏に松田津幡警察署長から反射タスキ普及員の委嘱状を交付しました。

この活動は、普及員に委嘱された住職が、読経の機会に参拝者に、交通安全ワンポイントアドバイスと反射タスキの着用を指導し、その普及を図ろうとするものです。



### 羽咋支部

## 交通安全子供自転車石川県大会の選手激励

当支部は、6月下旬、高浜小学校と宝達小学校の出場選手を激励しました。支部会長・森羽警察署長が「積んできた練習の成果を自信を持って、出してほしい」とエールを送り、子供達は、4月からの練習で上達した技能走行などの訓練成果を披露しました。



### 七尾鹿島支部

## とびだし注意看板の贈呈

当支部が支援するボランティア団体「交通安全せり口を願う会」は、七尾市本府中町と南ヶ丘町会に対し、交通安全を呼び掛ける手作り看板6枚を贈呈しました。

看板は、石川国体マスコット「元氣くん」をモデルにした「とびだし注意看板」で、タスキ部分には反射材テープを貼り付けています。今後、信号機のない通学路に設置し、子供達の交通事故防止に役立てていくことにしています。



### 穴水支部

## 通学路で交通安全警告シールなどを設置

6月22日、当支部と輪島警察署（穴水庁舎）は、穴水小学校通学路の横断歩道や交差点において、児童への交通安全警告シール10枚と運転手への交通安全注意電柱幕5枚を設置しました。警告シールは「これまで みぎみて ひだりみて」電柱幕は「注意通学路 スピード落せ」で、今後の成果を期待しています。



### 輪島支部

## 平成24年度定期総会

5月22日、輪島警察署において開催し、今年度の事業計画として、昨今の児童被害の交通事故多発を踏まえ、「通学路の安全対策を重点点に、交通弱者に対する被害防止活動を推進する」ことを決定しました。今年度からは門前地区が支部に組み入れられることとなり、新たな体制でのスタートとなりました。



### 能登支部

## 交通安全子供自転車石川県大会の選手激励

当支部は、7月2日、松波小学校の出場選手を激励しました。新平会長・橋本珠洲警察署長が「大会はもちろん、いつも自転車の安全運転に心掛け、他の子のお手本になって下さい」とエールと激励品を贈りました。子供達は「大会に向けて頑張ります」と決意表明し、大会での健闘を誓いました。



### 珠洲支部

## 反射材を着け、ホタルのように光らせて

当支部は、6月22日、珠洲市岡田町の「ホタルを守る会」主催のホタル勉強会と観察会に参加し、夜道での反射材の必要性を説明しました。

参加した園児・小学生・保護者に反射タスキとLED点滅のホタルキーホルダーをプレゼントすると、子供達はうれしそうに着用し、抵抗なく受け入れていました。子供の頃から交通安全の意識が習慣づけられれば良いと思います。



## 反射材があなたを守ります!

- 夜間の歩行者や自転車利用者の交通事故を防ぐには、反射材が大変効果的です。
- 当協会では、普段から気軽に身につけてもらえるような、ファッション性と実用性を備えた反射材を自前製造し、普及しています。
- 自分にあった反射材をつけて、楽しく安全な暮らしをはじめませんか。

### 反射材の効果(夜間の視認性と車の停止距離)



反射材用品の紹介

## 『ぱっちい〜号2世』が、あなたのまちに伺います!

- 年齢とともに低下する身体機能。交通安全体験車『ぱっちい〜号2世』は、この変化を自覚(診断)して安全運転・行動することを手助けします。
- 多くの方にゲーム感覚で、楽しく交通安全の理解を深めて頂いております。
- お住まいの近くまで伺いますので、ぜひ体験して下さい。(費用は無料)



平成23年中の石川県の交通事故状況

## あなたのまちの交通統計

### 死傷者数

(65歳以上の高齢者を除く)



(石川県警察本部交通部交通企画課資料提供)

市町別	死者	傷者	人口	人口1万人当たり死傷者の割合
金沢市	6	2,844	365,418	78.0
七尾市	1	186	39,966	46.8
小松市	3	570	82,651	69.3
輪島市	1	50	18,007	28.3
珠洲市	0	21	9,335	22.5
加賀市	1	342	50,940	67.3
羽咋市	1	81	15,670	52.3
かほく市	0	114	26,003	43.8
白山市	1	490	87,107	56.4
能美市	0	165	38,556	42.8
野々市市	0	322	44,822	71.8
川北町	0	36	5,091	70.7
津幡町	2	117	30,156	39.5
内灘町	0	94	21,668	43.4
志賀町	0	60	14,316	41.9
宝達志水町	0	70	9,898	70.7
中能登町	0	75	12,842	58.4
穴水町	0	22	5,749	38.3
能登町	0	17	11,430	14.9
高速道路	3	61		
合計	19	5,737	889,625	64.7

※人口(65歳以上の高齢者を除く)は、平成23年10月1日現在石川県統計情報室資料による推計値

石川県内	区分	発生状況累計	前年比増減数
交通事故発生状況	件数	2,618件	-276件
	死者	20人	-1人
	傷者	3,109人	-394人

石川県内市町別	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
交通死亡事故ゼロ継続日数	かほく市	内灘町	穴水町	宝達志水町	能登町	羽咋市	能美市	加賀市	中能登町	七尾市
	805日	694日	619日	596日	570日	460日	349日	258日	231日	191日

石川県警察本部交通部交通企画課調べ(平成24年7月18日現在)